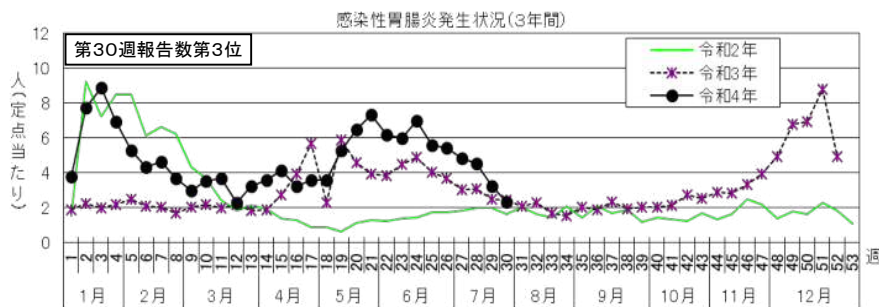
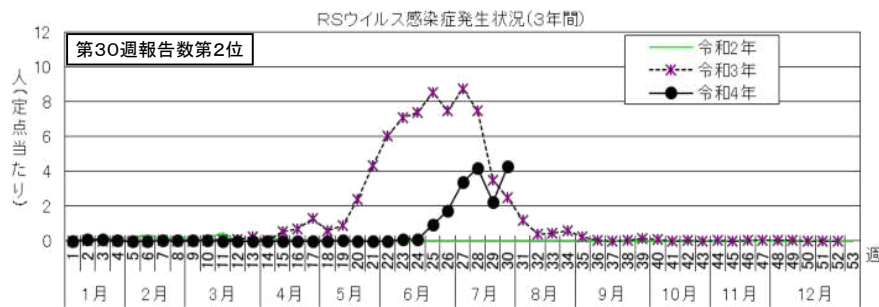
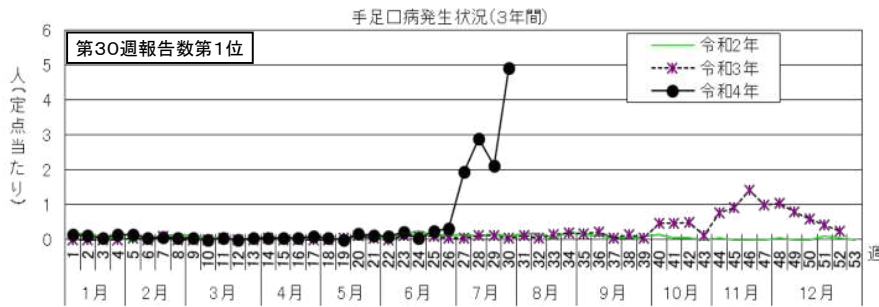


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年7月25日（月）～令和4年7月31日（日）〔令和4年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) RSウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は4,92人と前週(2,11人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4,27人と前週(2,24人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2,32人と前週(3,22人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

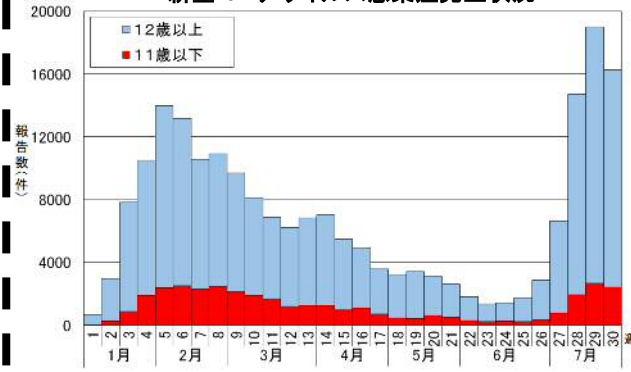


小児の熱性けいれんやクルーズに注意～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第30週(7月25日～7月31日)に22063件となり、過去最多を更新しました。これに伴い小児の報告数も増加しており、川崎市内では11歳以下の報告数が2500人を超える週もみられます。熱性けいれんや、クルーズ(喉の奥が腫れ、特有の咳を伴う疾患)などが発生する率も増えているため、お子さんがり患した際の体調の変化には十分注意しましょう。

国内では、5歳から11歳の小児に対しても新型コロナワクチンが承認されています。入院予防効果や発症予防効果が期待されていますので、対象のお子さんに対しては、ワクチン接種を御検討ください。

川崎市における令和4年の新型コロナウイルス感染症発生状況



川崎市における小児の新型コロナワクチン接種について

- 対象者
接種日において5～11歳の方
※原則として、接種日に川崎市に住民登録のある方
- 接種間隔
3週間の間隔をあけて、2回接種
- 使用するワクチン
ファイザー社製ワクチン(5～11歳用)
- 接種時の持ち物
接種券、予診票、本人確認書類(健康保険証等)、母子健康手帳
- 接種にあたって
・接種には保護者の同意と立ち合い(同伴)が必要
・予診票の署名欄には保護者の氏名を署名

※令和4年8月1日14時時点の新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)ダウンロードデータより作成しているため、直近の報告については一部反映されていません。